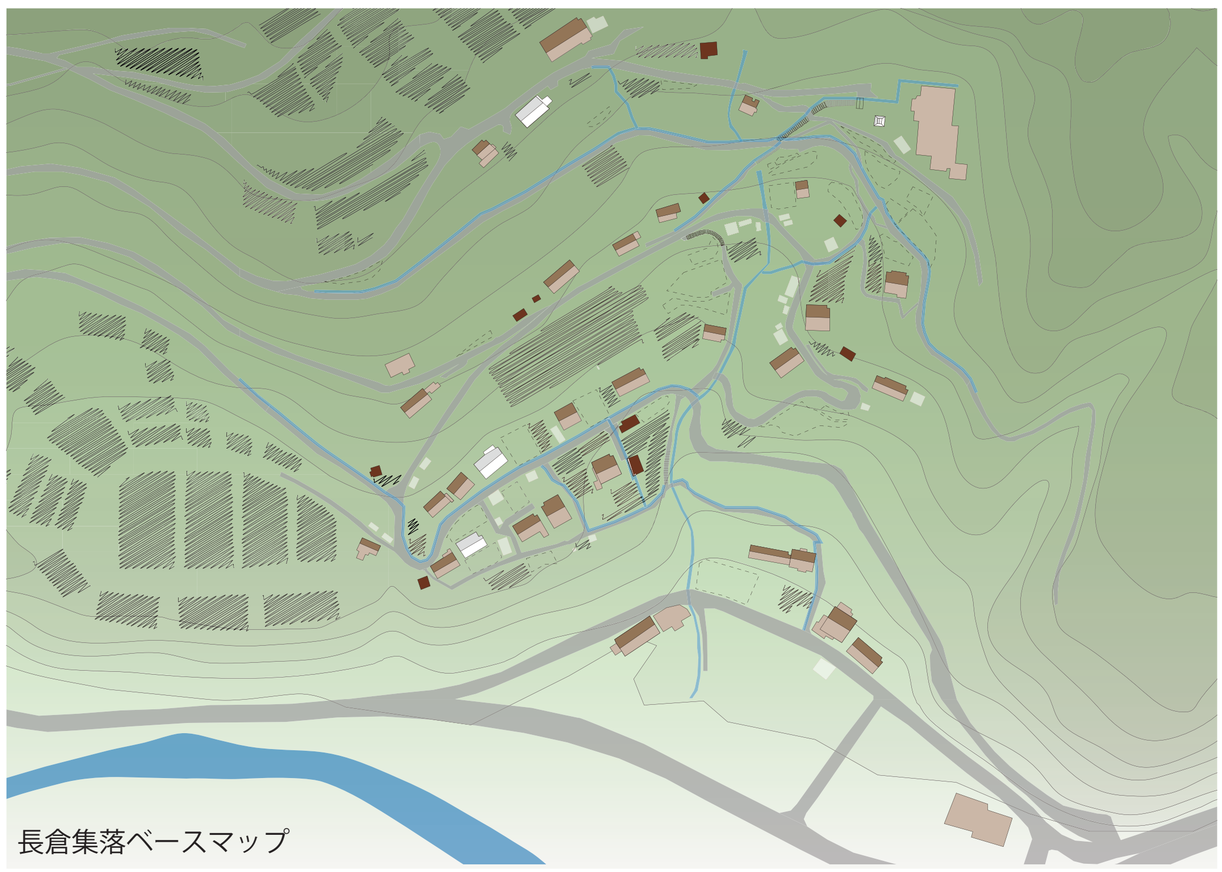
農山村集落の未来を描く
Planing for Area Management

92%が山林である高山市は、旧高山城下町である高山市街地から延びる五つの街道沿いに、集落が点在するという構造を持つ。2011 年度以降は、活動の舞台を市街地から北へ、上宝町に位置する長倉集落へ移した。高山文化の影響を受けつつも、斜面地という特殊な地形により独特の文化が育まれた地域である。現在人が住んでいる地区だけで見ても、高低差 120m もある傾斜地をはじめ、壮大な自然に囲まれている。

2012. Members

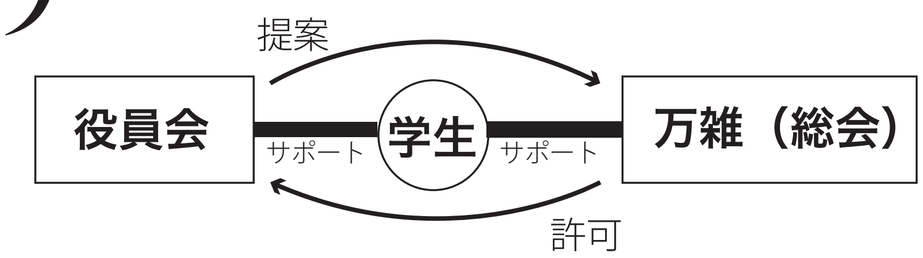
Taku Nohara　Yokohama National Univ. Associate Prof.
Chie Kodama　Urban Eng. Dept. (ud labo) M1
Noriko Iwasaki　Arch Urb Cult Dept. YNU M1
Shohei Ohno　Arch Urb Cult Dept. YNU M1



長倉集落ベースマップ

典型的な中山間地域であり、過疎化に悩まされるこの集落には、一方で密接な人間関係や、豊かな自然、文化的営みなどの資源も豊富に残っている。それらを踏まえ、この集落が自身の力で存続していくために、集落の人々と共に地域マネジメント計画を策定した。そして、その計画が実際に実行に移されるにはどういったサポートが必要なのかを探ってきた。

地域マネジメント計画策定後のフォローアップ
Support after making the Area Management Plan



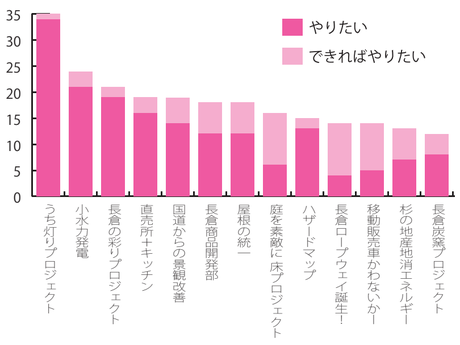
役員会 7月

2011 年度を通して住民の皆さんとワークショップをしながら作成した地域マネジメント計画書が印刷製本完成！集落役員会でお披露目しました。

地域マネジメント計画書▶

役員会 8月　第一回現地訪問

具体的な検討を進める事業について「誰が、いつ、どこで、何をやれば」実現にむけて動き出せるのかをまとめた企画書を作成し、役員会で話し合います。

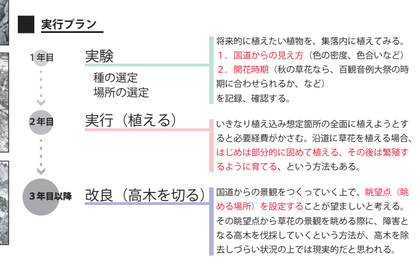


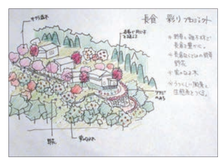
計画書に盛り込まれた事業のうち、実行に移したいという声の強いものについて、具体的な検討を進めます。

◀事業アイデアカード投票結果

◀全世帯が一堂に会す万雑

秋万雑 9月





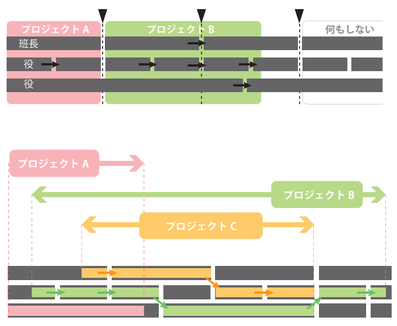
アイデアから企画へ

役員会 10月　第二回現地訪問

今期取り組むことになったうちあかりプロジェクト（PJ) についての詳細企画案を複数提示し、具体案を引き出します。

臨時総会・秋祭り 11月　第三回現地訪問

うちあかり事業を皮切りに、今後役員会と万雑が地域マネジメント計画にどう取り組んでいくか、問題提起します。

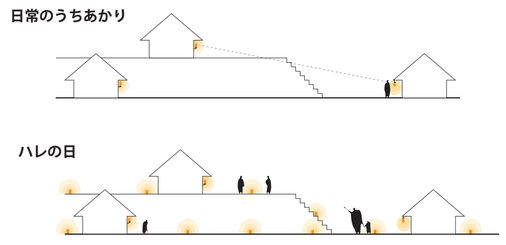


1月　第四回現地訪問

数軒で実験点灯するうちあかりの照明器具の様子を役員と一緒に確認します。

春万雑 3月　第五回現地訪問

全戸点灯にむけて、プロジェクトの区切りに際して点灯式を行うことを提案します。



長倉集落には、住民が交代で務める役員による役員会と、住民全員の意見をすり合わせる万雑という大きなシステムがある。特に役員の中心には班長の役があり、

① 班長が任期ごとに取り組む事業を定める
② 万雑でその事業に取り組む合意を得る
③ 実現に向けて役員会が企画をつめる

というわかりやすい体制が採用された。私たちの役目は、班長や役員に対する企画の実現にむけた詳しい情報提供、万雑で合意を得るための資料作成等を通じ、次々と周辺住民を巻き込みながら、集落の未来を皆が考える形を模索することである。

長倉集落の様子